

5 概 況

水道事業会計の業務実績を見ると、当年度の給水人口は40,940人で前年度比659人の減、給水区域内普及率は96.9%で前年度比0.1ポイント増となっている。有収率は78.5%で前年度比3.4ポイント減となっている。また、施設利用率は55.1%、最大稼働率は66.4%となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している（P3～4）。

経営成績を見ると、当年度純利益は136,005,428円で前年度と比較して17,238,971円（11.2%）の減となっている。この主な要因は、営業費用の増によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している（P5～8）。

財政状況を見ると、資産は流動資産の未収金の増により、前年度と比較して84,760,324円（0.7%）の増となっている。また、負債は企業債等の減により、前年度と比較して133,549,597円（1.6%）の減となっており、資本は純利益の計上、他会計からの出資等により218,309,921円（5.2%）の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している（P9～14）。

給水収益の収入状況を見ると、現年度分の収入率は98.6%で、繰越分の収入率は55.7%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している（P15）。